

粒が大きくコシがある、美味しいそば品種

# レラノカオリ

「レラノカオリ」は、早熟・多収・大粒のそば品種で、製粉特性にも優れます。待望された新品种の登場です。

育成期間／平成13年 ▶ 平成21年

品種の特徴

- 「キタワセソバ」と同等の良食味品種です。
- 草丈がやや低く、耐倒伏性に優れます。
- 多収かつ大粒で製粉歩留が優れています。

粒が大きくコシがある、美味しいそば品種

# レラノカオリ



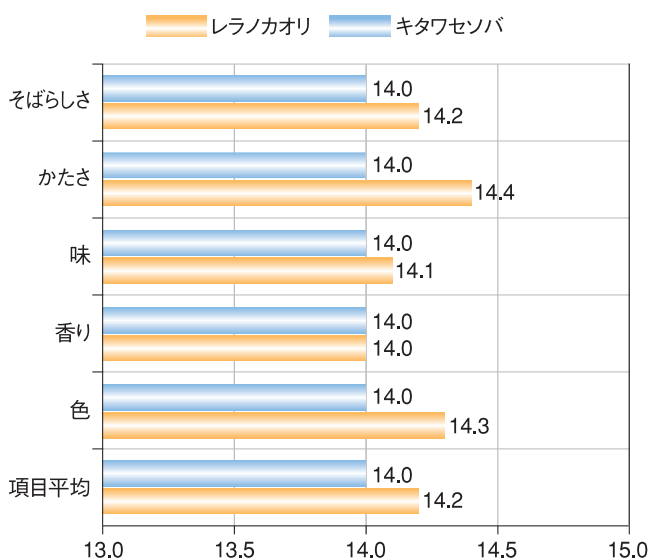
「レラノカオリ」は、北海道で栽培されるそばの約9割を占める「キタワセソバ」と比較して、大粒で収量、製粉歩留が優れる新しいそば品種です。遅刈でも収量が高く、コンバイン収穫適性にも優れます。また、「キタワセソバ」と同等の良食味であることから、そば産地の活性化に繋がることが期待されます。待望の、新しいそば品種の栽培が、平成24年から始まります。

## 生育・品質特性

品種名	播種期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	草丈 (cm)	倒伏程度	子実重 (kg/10a)	遅刈子実重 (kg/10a)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	製粉歩留 (%)
レラノカオリ	6.02	7.08	8.15	105	1.1	187	211	564	30.7	64.8
キタワセソバ	6.02	7.08	8.17	112	1.3	187	191	594	29.5	62.1

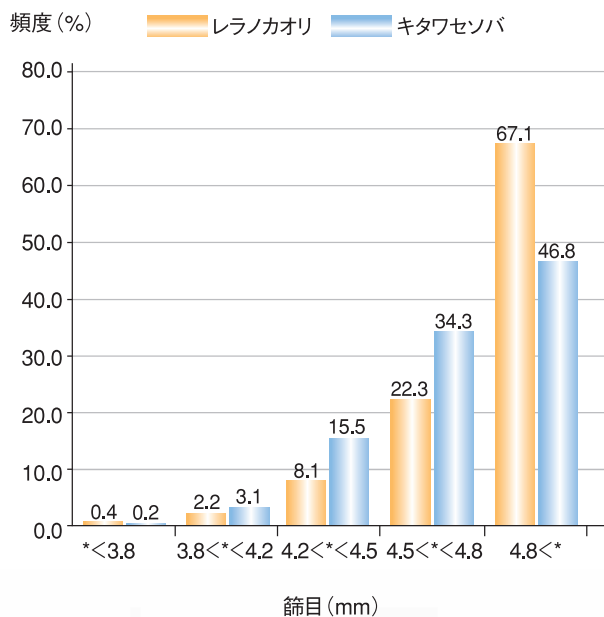
※子実重は成熟期である黒化率80%、遅刈は黒化率95%以上で収穫。※平成21～23年平均、遅刈子実重は平成22年、23年平均(北農研成績)  
※製粉歩留は平成21～23年平均(実需者A評価)

## 食味特性



食味官能検査は日本蕎麦協会(1989)方式による。「キタワセソバ」を基準(14.0)として、8(かなり不良)～20(かなり良い)で評価。  
※平成18～23年平均(北農研成績)

## 玄ソバの粒径分布



## 品種の特徴

- ソバ産地では北海道の普及品種「キタワセソバ」よりもやや多収です。
- 「キタワセソバ」と比較して、やや早熟で大粒の割合が多く、製粉歩留が優れています。
- 「キタワセソバ」と同等の良食味です。

## 栽培上の特徴

- 他品種と交雑するので、集団的に隔離栽培が必要です。

## 種子の入手方法

- 北海道農業研究センターまでお問い合わせください。



農研機構 北海道農業研究センター

お問い合わせ先

企画部産学連携室広報チーム TEL 011-857-9260

北農研

検索